

Z会奨学金

奨学生(高校時予約・給付型)

募集要項

2025年度(2025年4月大学進学予定)

Z会は、社会の革新と発展に貢献できる人材を育成したいという思いのもと、学ぶ意欲が高く成績優秀でありながら、経済的な理由により修学が困難な学生を対象に、経済的な不安を解消し、より勉学に専念できる機会を提供することを目的として、返済義務のない奨学金制度「Z会奨学金」を設立いたしました。奨学生が、少子化や国際化の進展や情報技術の発達により変革期を迎えている日本を、そして世界をリードする存在に成長していくことが、Z会の願いです。

「Z会奨学金」は、日本国内の高等学校の3年に在籍し、学業・人物ともに優秀かつ心身ともに健康であり、経済的援助を必要としている生徒を対象とした制度で、国籍は問いません。

Z会の指定大学(4年制)に入学することが、奨学生採用の条件となります。



Z-KAI

1 応募資格

① Z会が指定する大学への進学を希望する、2024年4月時点の高校3年生

② 真に経済的援助を必要としており、学業・人物ともに優秀である者

- ・ 経済状況…世帯収入が給与の場合は年収**600万円未満**

世帯収入が給与以外の場合は年収**300万円未満**

- ・ 資産状況…生計維持者が2人の場合は総額**2,000万円未満**

生計維持者が1人の場合は総額**1,250万円未満**

- ・ 世帯年収、資産状況と家庭状況を総合的に判断する

③ 高校2年次までの成績評定平均値**4.5以上**

小数点第2位を四捨五入してください。

※他の奨学金との併願応募は可能です。

※資産とは、現金、預貯金、有価証券等の合計額を指し、土地・建物等の不動産は含みません。なお、資産に関する証明書（通帳のコピー等）の提出は不要です。

※家庭環境を考慮して総合的に判断しますので、上記にあてはまらない場合もご相談ください。

2 指定大学

指定大学は、次に掲げる**15大学**です。夜間・通信制は対象外とします。

北海道大学・東北大学・国際教養大学・筑波大学・千葉大学・東京大学・東京工業大学・お茶の水女子大学・一橋大学・横浜国立大学・名古屋大学・京都大学・大阪大学・神戸大学・九州大学

（医学部、歯学部、獣医学部、薬学部などの6年制の学部は対象外です。）

3 奨学生の採用人数

3名

4 奨学金の給付

給付金	月額 12万円 （年額144万円）を給付します。
給付期間	大学入学時から卒業までの4年間
特別奨学金	大学2年次から4年次の奨学生の中から、前年度に学業成績90%以上を取得し、活動報告書等の評価が優秀であった者に給付します。3名を上限に、一人あたり最大50万円を給付します。

当奨学金の返済義務はありません。

他の奨学金との併用については、下記の通りとなります。

- ・ 日本学生支援機構(JASSO)の給付型奨学金は併用受給可能です。

※他の給付型奨学金は併用受給不可です。

- ・ 貸与型奨学金は併用受給可能です。

- ・ 遺児奨学金・遺児年金は併用受給可能です。

5 応募方法

下記の必要書類を、角2封筒に入れ、簡易書留郵便にて個人毎に直接ご提出ください。

※応募前に「Z会奨学金規約」を必ずご確認ください。

※学校でまとめた送付は受け付けません。

所定書式は、Z会オフィシャルサイト (<https://www.zkai.co.jp/home/scholarship/>) からダウンロードして、手書きで記入、またはフォーマットにタイプ入力しプリントアウトしてください。

①	願書	所定書式に必要事項を記入
②	成績証明書	高校2年次までの成績
③	所得証明書	父母または扶養者の収入を証明するもの（コピー可） ※前年度（令和5年1月1日～令和5年12月31日）の総年収の証明 ※専業主婦で収入がない場合でも「非課税証明書」が必要 ※源泉徴収票不可
④	住民票	本人及び願書掲載の家族全員（コピー可）
⑤	エントリーシート	所定書式に記入
⑥	応募者情報及び身元保証書	所定書式に必要事項を記入
⑦	個人情報同意書	所定書式に記入

6 エントリーシート課題

あなたにとって「解決すべき社会的課題」を1つ挙げ、それがあなたにとって切実な課題である理由、その課題についてこれまでにあなたが取り組んできたこと、課題を解決するために大学で学びたいこと、解決のために大学卒業時までにするべきことについてまとめてください。

7 応募期間

2024年4月1日(月)～2024年7月31日(水) Z会奨学金事務局必着

8 選考と決定までの流れ

2024年4月1日(月)	募集開始
7月31日(水)	募集締切り ※当奨学金事務局必着 ※一次 Web 面接の日程については随時連絡します。
8月7日(水) ～8月14日(水)	一次 Web 面接選考 (30分程度) ※書類選考通過者には、一次 Web 面接選考を実施いたします。日時については相談の上決定します。 ※一次 Web 面接では、エントリーシートの内容について主に確認します。
8月21日(水)	一次 Web 面接選考結果連絡
8月31日(土)	二次 Web 面接選考 (60分程度) ※一次 Web 面接選考通過者には、二次 Web 面接選考を実施いたします。 ※二次 Web 面接ではエントリーシートの内容をもとにしたプレゼンテーション (A4 サイズ片面で4～5枚程度にまとめた資料の発表) をしていただきます。 ※プレゼンテーションの書式は問いません。提出締切り、提出方法については一次 Web 面接時にお知らせいたします。 ※他に二次 Web 面接日の設定はありません。
9月6日(金)	二次 Web 面接選考結果連絡 (採用内定連絡)
2025年4月	正式採用、給付開始

9 奨学金の継続

継続にあたっては毎年度末に、在学証明書、当年度の学業成績表、年間活動報告書、次年度の奨学金継続給付願を提出していただきます。詳細は「Z会奨学金規約」をご確認ください。

「Z会奨学生規約」に著しく違背した場合、奨学金の給付を休止または奨学生身分の取り消しをする場合があります。

Z会オフィシャルサイト (<https://www.zkai.co.jp/home/scholarship/>) に、Z会奨学生募集に関するQ&Aを記載しておりますので、ご参照ください。

Z会奨学金に関するお問い合わせ

Z会 奨学金事務局

〒411-0033

静岡県三島市文教町1-9-11

株式会社 増進会ホールディングス内

電話：055-976-9711

(受付時間：午前9：00～午後5：30 土日祝日を除く)

E-mail：scholarship@zkai.co.jp

2025 年度 Z 会奨学金 願書

提出日： 年 月 日

1. 本人情報

氏名	フリガナ		写真 最近6カ月以内に撮影したもの。 タテ4.0cm×ヨコ3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し貼付すること。
住所	フリガナ		
学校名	高等学校3年		
連絡先	(自宅又は携帯番号)		
現在利用している奨学金			
学内外の活動、趣味・特技			
本人の現在の健康状態	<input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 疾病加療中 <input type="checkbox"/> その他 ()		
本奨学金を選んだ理由	応募理由		
本奨学金応募のきっかけ	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 日本学生支援機構 (JASSO) <input type="checkbox"/> Z会ホームページ <input type="checkbox"/> ガクシー <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 高校2年次までの学業成績

/	段階評価中
---	-------

3. 志望大学・学部・学科

第1志望	大学	学部	学科
第2志望	大学	学部	学科

4. 家族の状況

家族構成および所得	就学者を除く家族	続柄	年齢	同別居	職業	所得種別	年収額
				<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居			
		<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居				万円	
		<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居				万円	
		<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居				万円	
就学者	続柄	年齢	通学区分	在学学校		学年	授業料免除額 2024年度見込額 給付型奨学金 2024年度見込額
			<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 自宅外	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> 専門学校(高等課程) <input type="checkbox"/> 専門学校(専門課程)		千円	
			<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 自宅外	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> 専門学校(高等課程) <input type="checkbox"/> 専門学校(専門課程)		千円	
			<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 自宅外	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> 専門学校(高等課程) <input type="checkbox"/> 専門学校(専門課程)		千円	
			<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 自宅外	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> 専門学校(高等課程) <input type="checkbox"/> 専門学校(専門課程)		千円	

受付番号

※事務局使用欄

応募者情報及び身元保証書

(西暦) 年 月 日

Z会 奨学金事務局 殿

2025 年度 Z 会奨学金の奨学生として採用願いたく、募集要項、Z 会奨学金規約を確認・承諾のうえ応募いたします。提出書類及び下記の記載事項に相違ありません。

●申請者 (本人)

フリガナ						
氏名				印		
生年月日	(西暦)	年	月	日生		
学校名				高等学校		
現住所	〒	-				
電話番号	固定	-	-	携帯	-	-
E-mail					@	

注) E-mail の欄には日常的に使用しているアドレスを記入してください。

(添付ファイルが開ける PC やスマホのアドレスが望ましい。)

注) E-mail アドレスの - (ハイフン)、_ (アンダーバー)、大文字、小文字は丁寧に記入してください。

●身元保証人

フリガナ						
氏名				印		
本人との続柄・関係						
生年月日	(西暦)	年	月	日生		
現住所	〒	-				
電話番号	固定	-	-	携帯	-	-

注) 身元保証人は父母兄弟・親族としてください。

(この用紙は申請者本人、身元保証人のそれぞれが手書きで記入し、捺印してください。)

① あなたにとって「解決すべき社会的課題」を1つあげてください。

② ①の課題が、あなたにとって切実な課題である理由を教えてください。

③ ①の課題について、これまでにあなたが取り組んできたことを教えてください。

④ ①の課題を解決するために、あなたが大学で学びたいことを教えてください。

⑤ ①の課題を解決するために、大学卒業時までにはあなたがすべきことを教えてください。

提出書類の記入方法について

応募を希望される方は、在学する高校から成績証明書、自治体から住民税課税証明書等、応募に必要な書類を入手してください。Z会オフィシャルサイトから提出書類をダウンロードし、下記の記入方法を参照のうえ、記入漏れ、捺印漏れのないよう作成してください。

■願書

1. 本人情報

- ・顔写真は、最近6カ月以内に撮影したもの。4.0cm×3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、願書の所定欄に貼付してください。
- ・学内外の活動は、生徒会活動や部活動・趣味・特技などを記入してください。

2. 学業成績

- ・高校2年次までの成績証明書を元に記入してください。平均スコアは小数点第2位まで。
※小数点第2位を四捨五入し記入してください。

3. 指定大学

- ・Z会奨学金の指定大学への入学が給付条件となりますので、指定大学を記入してください。
- ・指定大学であれば、応募・内定時点での大学・学部と、実際に進学する大学・学部が異なっても構いません。

4. 家族の状況

<就学者を除く家族>

- ・所得の形態に関わらず、住民税（市区町村民税・都道府県民税）課税を証明する書類をご用意ください。
※自治体により名前が異なる場合があります。
※専業主婦で収入がない場合でも「非課税証明書」が必要です。
- ・同一生計の家族内において収入のある者全員分を記入してください。
- ・扶養者でない祖父母や兄弟姉妹の収入については、記入不要です。
- ・所得種別は、給与・アルバイト・事業所得・雑所得・年金・手当等を記入してください。
- ・年収額は、令和5年度の住民税課税証明書の「給与収入金額欄」に記載されている金額を、万円単位（千円以下切り捨て）で記入してください。
- ・所得種別が年金の場合は、住民税課税証明書または払込通知証をもとに令和5年度分の受給額を記入してください。
- ・生活保護費等の生活扶助費については、住民税課税証明書または通知書をもとに令和5年度分の受給額を記入してください。
- ・就学前の家族も、こちらに記入してください。

<裏面に続く>

<就学者>

- ・申請者を除く就学者の情報を記入してください。(2024年4月現在)
- ・申請者を除く就学者の内、2024年度の授業料免除および給付型奨学金の受給がある場合は記入してください。貸与型の記入は必要ありません。
- ・火災・風水害・震災等の被害を受け、収入の減少や支出の増加がある場合は、状況を記入してください。
- ・資産状況についても記入してください。
※資産とは、現金、預貯金、有価証券などの合計額を指します。詳細は募集要項をご確認ください。資産に関する証明書(通帳のコピー等)の提出は不要です。
- ・その他、経済的な事情、奨学金を必要とする理由など、特記することがあれば記入してください。
※特記事項に応じて、採用内定後に証明書を提出していただく場合があります。

5. 他の奨学金の申請状況

- ・Z会奨学金に応募する時点の、他の奨学金の申請状況を記入してください。

6. 高校時代に仲間と取り組んだことについて、その内容、成果、仲間の力を引き出すためにあなたが行ったことを200字以上で記入してください。(必須)

■応募者情報及び身元保証書

- ・申請者本人と身元保証人のそれぞれが、自身の欄に記入し、各々捺印してください。
- ・申請者本人のE-mailアドレスは、丁寧に記入してください。事務局からのメールが届かない場合があります。

■エントリーシート

- ・エントリーシートをダウンロードし、プリントアウトして手書きで記入、もしくはタイプ入力してプリントアウトしてください。手書きの場合は、黒ボールペンを使用して、楷書で作成してください。(消えるボールペンは使用不可)
- ・あなたにとって「解決すべき社会的課題」は何かがテーマです。このテーマに関するいくつかの質問に回答してください。分量はA4サイズで片面1枚に必ず収めてください。二次Web面接に選考が進んだ際は、この内容をもとにプレゼンテーション用の資料を作成していただきます。

■個人情報の取り扱いについての同意書

- ・申請者が自署してください。

個人情報の取り扱いについての同意書（応募者用）

株式会社増進会ホールディングス（以下、「増進会ホールディングス」という）は、Z会奨学生募集にご応募いただいた方（以下、「応募者」という）の個人情報を法令に従って安全かつ適切に取り扱います。応募者の個人情報取り扱いの原則は以下の通りです。

1. 個人情報の利用目的について

応募者の個人情報は、次に掲げる目的のために取得し、利用します。他の目的に利用することはありません。

- （1）Z会奨学金の募集選考実施および選考に際しての連絡等を行うため。
- （2）採用選考の結果採用となった場合、その後の管理を行うため。

2. 個人情報を提供することの任意性及びその個人情報を提供しなかった場合に生じる結果について

個人情報を増進会ホールディングスに提供するか否かは、応募者ご本人の判断次第ですが、ご提供されない場合には、選考業務に影響が生じる場合があります。

3. 個人情報の管理者について

個人情報保護管理責任者

連絡先：privacy-zoshinkai@zkai.co.jp

4. 個人情報の取り扱いの委託について

1. の目的で応募者の個人情報を取り扱う業務を協力会社等に委託する場合、委託先の選定基準を満たす業者に委託し、その取扱基準を定め、適切な教育・指導・監督を行うとともに、委託業務に関して契約を取り交わし、機密保持についても契約に盛り込みます。

5. 個人情報の第三者への提供について

応募者の個人情報は、以下のいずれかに該当する場合を除き、増進会ホールディングス以外の第三者に提供いたしません。また、提供する際も必要最低限の情報のみを提供します。

- （1）利用目的の達成に必要な範囲内において、社外の協力会社等へ業務を委託する場合
- （2）人の生命、身体、財産の危険を回避または危険に対処するためにやむを得ない場合
- （3）応募者の同意がある場合
- （4）法令に基づく適正な提供要求があった場合

6. 取扱基準について

増進会ホールディングスの従業員に応募者の個人情報を取り扱わせる場合、その取扱基準を定め、適切な教育・指導・監督を行います。

7. 安全保護措置について

応募者の個人情報を安全に管理するためコンピュータシステムに防禦措置を施し、保管・運用・廃棄における物理的・技術的・組織的な安全保護措置を講じます。書面以外でいただいた個人情報につきましても、保管・利用・廃棄に関して適切な安全保護対策を講じます。

8. 個人情報の開示等の要求に対する対応について

選考期間中に、ご自身の個人情報について個人情報保護法に基づく利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加又は削除、利用の停止、消去および第三者への提供の停止を希望される場合は、当該の募集要項にあるお問い合わせ先にご連絡ください。ご本人であることを確認させていただいた上で、すみやかに対応いたします。ただし、本人確認ができない場合のご要望、所定の手続によらないご請求や個々の選考結果・評価・選考基準に関する情報の開示等には応じかねます。

9. 応募書類の保管および処分について

提出された応募書類は、採用・不採用に関わらず返却いたしません。応募書類ならびに記載された情報は、採用となった方については、奨学生として奨学金を給付する間、採用にならなかった方については1年間、増進会ホールディングスの所定のルールに則り保管管理を行い、期間経過後に廃棄処分を行います。

上記に基づく私の個人情報の取り扱いに同意します。

西暦 年 月 日

自署)

Z会奨学金 提出書類チェックリスト

提出される前に、ご確認ください。

チェック	書式名	確認事項
<input type="checkbox"/>	①願書	所定書式に必要事項を記入
<input type="checkbox"/>	②成績証明書（高校2年次までの成績）	
<input type="checkbox"/>	③所得証明書（父母または扶養者の収入証明）	
<input type="checkbox"/>	④住民票（本人及び願書掲載の家族全員）	
<input type="checkbox"/>	⑤エントリーシート	所定の書式に記入
<input type="checkbox"/>	⑥応募者情報及び身元保証書	所定書式に必要事項を記入
<input type="checkbox"/>	⑦個人情報の取り扱いについての同意書	

上記の必要書類を、角2封筒に入れ、簡易書留郵便にて個人毎に直接ご提出ください。

宛先

〒411-0033

静岡県三島市文教町1-9-11

株式会社 増進会ホールディングス内

Z会奨学金事務局宛

Z会奨学金 応募動機及び大学での活動

大学名

東京大学経済学部 2022年度入学：Z会奨学金三期生

Z会奨学金を申し込むきっかけ

父親が高校在学時に定年退職を迎えており、家計的に大学進学を諦めるべきか迷っている時に所属する高校を通じてZ会奨学金の存在を知りました。奨学金の存在がなければ大学にも行けない、と感じていた自分にとっては大学進学を目指すきっかけにもなりました。奨学金を得て大学に進み様々な見聞を得たい、という気持ちはもちろんありましたが、それよりもむしろ、高校時代に取り組んでいた研究や活動について知ってもらい、また今後の展望などにフィードバックをもらい今後の糧にしたいと考えていました。大学に入ると、どうしてもその中でコミュニティーが確立されてしまい、なかなか他の大学の方と交流する機会も少ないので同年代の様々な大学生との交流も魅力の一つです。

Z会奨学金を受けて良かったこと

上記でもご紹介したように大学入学前に自分が今までやってきた研究や活動を振り返り、自身をメタ化する中で大学への解像度が上がったと非常に感じます。受験期は四六時中机に向かう毎日でしたが、過去と今、そして将来を見通したことで「なぜ自分はこの大学に入りたいのか」「大学でどんなことを実際に取り組みたいのか」自分の言葉で説明できるようになり、結果としてやる気やモチベーションの向上に繋がりました。私自身、学校型選抜入試（いわゆる推薦入試）での入学だったため、Z会の書類や面接審査でのフィードバックを通じて自身の課題点を意識し、そこを克服した上で結果につなげることができました。

大学での活動(社会を変えるために取り組んでいること)

高校時代にトイレの研究を行っていたことから、専攻を超えた幅広い講義を受けて、トイレをさまざまな視点から見つめると共に、経済学として「トイレをより良いものにするによってどれくらいの収益が上がるのか」といったインパクトの測定をすることで日常的な空間に見落とされたニーズや改良の伸びしろを調査しています。また、現在は「車椅子」「乳幼児ベッド」など様々な機能のついたトイレを現在地から探すことができるトイレマップアプリの開発を行っており、既存のトイレを可視化して効果的に活用するほか、どの地域に設備が不足しているのかも洗い出すことで更なるトイレ環境整備に努めています。既存の仕事では埋められないギャップを埋め、それが社会の一部として広がり、次第に自身の取り組みがフェードアウトしても上手く回る社会を作る存在を目指し、活動しています。

後輩へのメッセージ

私はこの奨学金を通して、私は自身の過去と今、そして将来という点と点をつなげ、大学への目的意識が明確化されました。ただがむしゃらに勉強をしていく中で初めて「この大学に行きたい」という気持ちが芽生えた瞬間でもありました。勉強をする中でも時に自身を見つめ直し、そして次への糧にしていってください。大学はいい意味で自由で、皆さんに多くの学びの「機会」を与えてくれます。その機会を使う使わないを決めるのは皆さん次第です。是非ジブン色に大学生活を染めていってください。全ての頑張る皆さんを応援しています。

Z会奨学金 応募動機及び大学での活動

大学名	北海道大学 法学部	2023年度入学：Z会奨学金四期生
-----	-----------	-------------------

Z会奨学金を申し込むきっかけ

高校3年生になった際、元々、大学進学を考えてはいたものの、母子家庭であった私はそのための資金が乏しかったです。そこで、学内に掲示されていた奨学生募集ポスターを見ていたところ、Z会奨学金を見つけ、条件も合うことから申し込むことにしました。

Z会奨学金を受けて良かったこと

良かったことは志が高い仲間がいることを認識できたことです。11月の奨学生の集いでは、東京大や京都大などで研究をしていたり、自己研鑽の活動をしていたりする人々と交流することができました。その中で自身の未熟な点を意識することができ、これからの大学生活をどのようにして充実したものにするかを考えました。そうした仲間と一緒に奨学生であることを意識することで、高きを仰いで、自身を成長させることができることはこの上ない機会だと思います。

大学での活動(社会を変えるために取り組んでいること)

私は北大生協学生組織委員会に所属しており、その中でも「総代」と呼ばれる組合員の意見を生協に届ける代表を対象にした活動の主宰をしています。5月に開催される「総代会」では北大生協の決算や予算、運営状況や方針などを決議したり、総代同士の交流会を設けたりしています。専務理事(いわゆる社長にあたる職)をはじめ、多くの生協職員や関係者を巻き込みながら、大学生の勉強や日常生活における課題、社会的問題を解決する方法を議論し、企画の実現を通じた、課題の解決を目指しています。例えば、北大生の多くは欠食や栄養バランスの偏りがあったり、進路や研究などで悩んでいたりをデータから分析し、そのことを踏まえて総代とともに話し合い、それらの解決案を北大生協に提案しました。これを受け、食堂や購買、共済といった大学生協のサービスだけでなく、大学組織である学生相談室や保健センター、外部団体の保健所などとも連携した活動を視野に入れ、学生委員会の活動を活発化させたいと考えています。

奨学金に申し込む当初は、非正規雇用に関する政策を考えたいと思っていましたが、勿論、その思いは今も変わらないものの、民主主義や社会的問題を幅広く取り扱っていきたいという思いが強くなりつつあります。それは当学生委員会に所属したことで、見える景色が変わり、「目の前にある問題を小さなことでもいいから取り扱っていきたい」と思ったからです。高校生の頃は、漠然とした問題解決としか考えていなかったものの、大学生になり、当学生委員会に所属したことで、問題意識が明瞭になりつつあります。その問題を企画という形で認知度を上げるなど、具体的なアクションにシフトしようとしています。総代というのは参加型民主主義の一例であり、自身の社会的問題意識と目の前にある問題を絡めた活動を提起することができていると自負しています。

後輩へのメッセージ

奨学金はZ会奨学金のような民間から、JASSOや自治体といった公的なものまで幅広くあります。私自身は高校生の頃は別の民間団体から奨学金を援助してもらっていましたが、Z会奨学金は比較的、奨学生同士の繋がりが強いと思います。それは、まだ私で4期生と比較的新しい奨学金団体であること、志をもった学生が集まっていること、そして事務局の方々が親切だからです。

私は母子家庭で裕福な家庭ではありませんでしたが、この奨学金のご援助により、札幌で大学生活を楽しむことができています。法学や政治学という学問の奥深さを知り、家族や友人の存在の大きさを知り、今までの視野が広がりつつあります。大学進学を金銭的理由で踏みとどまってしまう方もいるかもしれませんが、給付型の奨学金を頂くことで自分の夢や進路を考えてみてほしいと思います。

Z会奨学金 応募動機及び大学での活動

大学名	お茶の水女子大学理学部	2022年度入学：Z会奨学金三期生
-----	-------------	-------------------

Z会奨学金を申し込むきっかけ

高校2年次に校内の掲示板でZ会奨学金の存在を知りました。高校入学時から国立大学進学を目指していたため、Z会奨学金の指定大学制度に魅力を感じて応募しました。私は母子家庭なのですが、Z会奨学金から大きなご支援をいただき、経済的負担を気にせずに学業や課外活動に専念できています。

Z会奨学金を受けて良かったこと

大学在学中そして社会に出た後の将来像について解像度を高く考える経験を得られたことです。私が応募した際は小論文が審査対象で、そのテーマとして「あなたが考える大学卒業時点で最も解決すべき社会的課題」を提示されました。世界情勢を含めて情報収集をし、自分は何に最も心惹かれるのか、また自分の特性を活かして未来の社会にどう貢献したいのかを明確にして小論文にまとめました。先生に何度も添削をしていただいていたので納得のできる文章に仕上げることができました。自分のビジョンを言語化するのは簡単なようで難しいことです。高校在学中に経験できたことで進路選択の自信になりました。大学入学後も時折小論文を見返して指針にしています。

大学での活動(社会を変えるために取り組んでいること)

私は、化学的事象を広く深く学びたいという探求心から理学部化学科への進学を決めました。現在は研究活動の土台となる化学諸分野の専門科目を学んでいます。将来は化学的知識を活かして予防医療の向上に貢献できればと思っています。

後輩へのメッセージ

もしZ会奨学金の募集要件を満たしているなら、ぜひ応募を検討してみてください。選考準備と受験勉強を並行してこなすのは大変ですが、その価値はあると思います。いつも頑張っている皆さんにエールを送ります。

Z会奨学金 応募動機及び大学での活動

大学名	千葉大学 教育学部	2021年度入学：Z会奨学金二期生
-----	-----------	-------------------

Z会奨学金を申し込むきっかけ

1 経済的負担を軽減したかったため。

私は、一人暮らしを予定していたこともあり、大学に進学するにあたって経済的な不安を抱えていました。Z会奨学金は、返済義務のない給付型の奨学金を、4年間に渡って給付して頂けるため、経済面での不安が軽減できると考え、申し込みさせて頂きました。

2 選考の際に、家庭の状況だけでなく、自分の将来の目標などをアピールできたため。

Z会奨学金の選考では、論文や面接などにおいて、将来自分の目指す姿や、これまで自分が努力してきたことを見て頂けました。これらが志望大学の総合型選抜の対策にもなると考え、自らの大学進学後の目標を明確にする良い機会であると考えました。

Z会奨学金を受けて良かったこと

1 経済的なサポートの元、大学での学びに集中することができた。

学費や生活費のために無理なアルバイトなどをすることなく、大学で自分の学びたいことに集中して取り組むことができおり、奨学金のサポートにととても感謝しています。

2 大学進学後の将来像や目標が明確になった。

Z会奨学金の選考では、大学卒業後、社会に貢献する自分の姿まで見据えて論文を作成します。そのため、自ずと、大学在学中に取り組むべきことや学ぶべきことが明確になり、大学での学びを、将来を見据えた充実したものにできたと考えています。

3 他の奨学生との交流により知見を広げることができた。

Z会奨学金には、様々な分野を学ぶ学生が全国から選抜されています。自分と似た分野や異なる分野を学ぶ多大学の学生との交流は、とても貴重な機会だと思えます。

大学での活動(社会を変えるために取り組んでいること)

私は、養護教諭(保健室の先生)として、子どもたちの抱える様々な課題に向き合い、一人一人の将来の選択肢を守り広げるお手伝いをしたいと考えています。

Z会奨学金応募時の論文では、特に義務教育段階での不登校により、子どもの学ぶ機会や将来の選択肢が奪われてしまいやすい現状を課題視し、養護教諭という立場からのアプローチを考えました。

大学進学後は、「不登校」などに限らず、多様化・複雑化する社会で子どもたちを取り巻く様々な課題について学びを深める中で、子どもたちが将来の可能性を広げ、自分らしく豊かに生きていく力や、一人一人の子どもたちの自己肯定感や自尊感情を育むための、養護教諭の役割や学校の体制づくりなどについて、学びを深めていきたいと考えています。

後輩へのメッセージ

奨学金の応募を考えている方の中には、受験勉強の時間を削り、奨学金申請のための書類作成や面接対策をすることに、不安と焦りを感じる方も多いのではないかと思います。実際に私も、論文作成に時間を使っている間、他の受験生はどんどん勉強を進め、差をつけられてしまうのではないかと焦りを感じることもありました。不安と焦りはあっても当然だと思います。

受験期は、とても大変ですが、自分の目標に向かって、自分の力で進むことのできる貴重な時間だと私は思います。Z会奨学金の応募を迷っている方がいたら、諦めずに、是非、挑戦して欲しいです！私は、3年前、挑戦してくれた自分に本当に感謝しています(笑)。

最後に、これから目標に向けて進んでいく皆さんを、心から応援しています。